

2019-02-26(火)

着回し方を考えながらマタニティ服を買う

長く使う、使い切るために、着回し方や手持ちの服とのコーディネートを考えながらマタニティ服を買った。

最初に着られなくなったのは、デニムパンツやチノパン、スキニーパンツ等のボトムだった。そこで「産後も穿ける」スキニーパンツと、チャックが上がらなくなったりしたパンツのベルト止めに引っかけて使うアジャスターを買った。マタニティボトムはウエストの生地が大きく、妊娠初期は折り返して穿くタイプの物とゴムの長さが調節できるタイプの物がある。「産後も穿ける」といっている物は折り返して穿くタイプがほとんどだ。

オールシーズン着られる「産後も穿ける」パンツは長く着られるけど、まだお腹が小さい初期～中期が冬だと重ね着が面倒くさい。折り返すタイプのレギンスを重ねて穿くと、その2着だけでお腹に布地が4枚重なる。ショーツと腹帯を入れれば6枚！妊婦はトイレが近いのにこんなに何枚も穿いていたらやってられない！と思って1枚でも寒くない裏起毛のパンツを選んだ。

お腹の重なりの煩わしさがなく、合わせるトップスの長さを考える必要もない、ワンピースが楽と知って2着買った。マタニティ専門の店ではなく、ショッピングセンターのカジュアル服の店で買った。チャックが後ろにある物や上から下まで繋がっているニットワンピだと授乳は出来ない。授乳期も着たいので授乳が出来て、お腹の成長に対応出来る大きめサイズを選んだ。

妊娠前ジャストサイズのトップスは着られなくなる。その後も着られるように授乳服に見えないデザインの、授乳口付きマタニティトップスを2着買った。丈の短い手持ちのトップスは新たに買ったジャンパースカートの中に重ねて着たり、ウエストがゴムのロングスカート（手持ち）のウエスト位置をアンダーバストで穿けば、上にも着られた。ウエストがゴムのパジャマのズボンは、前と後ろを逆にして穿けばまだ穿ける！



左：アジャスター＆スキニーパンツ / 右：ワンピ＆ジャンスカ

著者：minima
アラフォー女子。グリーンコンシューマー東京ネット
会員。この連載をまとめた電子書籍
[「エコな買物がしたい」](#)がAmazonにて販売中。